

「人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように」

エペソ3：14-19 堀田修一 19・10・20

人知をはるかに越えたキリストの愛を知るには。

I 「愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがた」：17。

1. 「根ざし」は、植物のイメージ。植物が成長し実を結ぶかは、どのような土、土壌に根を下ろすかが非常に大切。※証し。ある農家の方の言葉。我が家の畑。私達は、人間の変わってしまう愛に根ざすのではなく、キリストの変わらない深い愛（十字架で私達の罪を負い、罪の刑罰を受け身代わりに死なれた命をかけた愛。私達を受け入れて下さる愛）に根ざして、霊的な養分をいただきつつ生活できる事は幸いな事。人の愛に根ざし、人から受ける事ばかり求めると、人の愛は底が尽きて限界がやって来る。しかし、キリストの愛は尽きる事がない。キリストの愛に根ざして生きるとは、真実な愛のキリストと毎朝、深い交わりをし、キリストとつながり（ディポジション・礼拝・分かち合い祈り合う）、キリストから深い愛をいただき続けて生きる事。「一番すぐれているのは愛です。愛を追い求めなさい」（Iコリント13：13-14：1）

2. 「基礎を置いている」とは、建物のイメージ。建物がしっかり立ち続ける為には、どのような基礎・土台が据えられているかが非常に大切。私達の人生、信仰生活の土台、基礎は、キリストご自身であり、キリストの御言葉、キリストの愛。私達が変わってしまう揺れ動く人の愛に基礎、土台を置いているなら、私達は、いつも不安定で揺れ動いてしまう。「昨日は、主に愛されている気分がした？今日は良い事がなかったから愛されていない？」と自分の気分や状況で判断してはならない。「イエス・キリストは、昨日も今日も、とこしえに変わることがない」（ヘブル13：8）。※人の気分は、日によって変わる。私達を真実に永遠に愛し続けて下さるキリストの不動の愛に基礎を置いて歩むなら幸い。このキリストからいただく愛で、互いに愛し合う事が可能になる。キリストの「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、怒らず、人のした悪を思わず（「あなたがたの働きや愛を忘れてたりなさいませぬ」ヘブル6：10。もったいない愛！）、不正を喜ばず、真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることがありません」（Iコリント13：4-8）。この愛で私達は主から愛されている！感謝します。

II 「すべての聖徒とともに」：18。

一人では、愛は、学ぶ事も実践する事もできない。主と深く交わる事と他のキリスト者と共に交わる事の両方が大切。主にある者同士の交わりで、主の愛の恵みを分かち合いながら、主の愛の素晴らしさを理解して行く。主にある者同士の交わりで、愛する事、受け入れる事、赦す事の恵みと同時に愛する事、赦す事の難しさをも経験する。私達の御父はここを通されます。「主はその愛する者を訓練し、受け入れるすべての子に、むち（私達をへりくだらされる訓練）を加えられるのだから」（ヘブル12：6）。人を愛し、赦す事、赦される事がいかに難しい事かを深く学ぶ中で、キリストが罪深い、罪人のかしらである私という人間を愛し赦された愛が、いかに軽いものではなく、広く、長く、高く、深いものかを理解させられて行く。ここに共に交わる教会の大切さ、大きな恵みがある。愛は、一人では学べない。人とのかかわりの難しさの中で、深い学びがある。

Ⅲ「その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり」：18。

キリストの愛の①「広さ」。私達の心、愛は狭く、受け入れ難い人、好き嫌い、差別がある。しかし主は、ユダヤ人も異邦人（すべての国の人々）も、人々に見下げられている人も、どんな人をも差別せず愛し救いに招いて下さる広い愛の方！罪深い私達を愛し受け入れて下さる広い主の愛。※証し。広い愛をお持ちの神が、私のそばに置かれた少年。「キリストが神の栄光のために、私達を受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい」（ローマ15：7）。

②「長さ」。Ⅰコリント13：4のキリストの「愛は寛容」の「寛容」の原語の意味は「長く苦しむ」。私達が長く苦しむ事があっても、見捨てず、長く苦しむ私達に寄り添い暖かく愛して下さる。人の愛には一時期で終わってしまう短い愛がある。しかし主の愛は長く＝永遠に私達を愛し続けて下さる。短気な方ではないキリストの愛は、「すべてをがまんし（私達の欠点をおおい）、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることはありません」（Ⅰコリ13：7、8）。

③「高さ」。人の愛は、低俗で、識別力もなく、品格もない事がある。しかし、主の愛は高く、品格があり、高尚な愛。「私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。『わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。…天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い（今は分からなくても最善をなされる）』（イザヤ55：7-9）。私達は、時々、主の愛を誤解し、自分が願う道と神が与えて下さる道が違う時、神は私の事を愛されていないと低い次元で考え落ち込んでしまう。そんな時、次のみことばイザヤ55：7-9と「隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし現わされたことは永遠に私たちと私たちの子孫のものであり、それは私たちがこのみおしえのこことばを行うためである」（申命記29：29）を読み味わおう。この地上では、「なぜこんな事が、すべてを支配しておられる神の許しの中で起こるのか？」という事が起きる。偉大な神のなさる事の意味が、限られた知識、判断しかできない私達には、神の深いお考えの中で、隠されている事がある。地上で、ある事の意味が、後に分かる事もある。地上で分からない事もある。天国に行った時、神にお尋ねしよう。主の愛の思い、道は、私達の低い思いより高く、私達の思いと違って、高く最善の道を愛をもって備えておられる。「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益（私達が主の御姿に成長する。神の深いご計画、御業がなされる）となることを、私たちは知っています」（ローマ8：28）

④「深さ」。人間の持つ浅い愛ではなく、深い深い主の愛。私達が、深いどん底に落ち込んで、その深い所で私達を支え、受け止めてくださる主の深い愛。「ああ、神の知恵と知識の富は、何と底知れず深いことでしょう」（ローマ11：33）。※三浦綾子さんが天国に行かれる少し前の言葉。私達は、キリストから離れ、キリストの広く、長く、高く、深い愛に満たされていない時は、問題、悩みの中で、狭い考え、短気、性急、あせる心、低い思い、浅い判断に縛られて失望、絶望へと追いやられて行く。しかし、そんな私達が、キリストに近づき、すべての聖徒とともに、キリストの広い、長い、高い、深い愛に満たされ、キリストから広い心・考え・愛、長く忍耐する愛、自分の願い通りにならなくても、そこにある主の愛、自分の思いと異なる高い、最善の御計画を信頼する愛、主と隣人を深く理解し愛する愛を主からいただく事が出来るのです。

祈り：本日の：17-19の御言葉を基にして祈り続けましょう。

「私達が、キリストの愛に根ざし、キリストの愛に基礎を置いて、すべての聖徒とともに、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることが出来ますように」